

施策評価シート（令和4年度実績）

施策名 **施策1 支援を要する子育て家庭を支える**

施策コード 010001

1. 施策の体系と担当課		
第5次総合計画	将来像	1 心豊かな人が育ち ふるさとに誇りと愛着を感じるまち
主管課	子ども部	子ども福祉課
関係課	子ども部	子ども相談課

2. 施策の目標	
10年後の目標	
<p>子育てに関する経済的な負担軽減や生活基盤を確立するための制度が市民に認知され、必要とする人が安心して利用でき、子どもを健全に育成できる環境が保たれています。</p> <p>子育ての悩みを相談できる場が確保され、児童虐待につながる芽を摘み取るネットワークを確立し、万が一虐待が発生した場合、地域ぐるみで早期に解決できる体制となっています。</p>	
10年後の目標に向かっての主な取組み	
市の取組み	
<p>○子ども医療費助成を継続して実施するとともに、その対象を拡大するなど、すべての子どもが必要な医療を受診できる制度をめざします。</p> <p>○ひとり親家庭に対するきめ細やかな生活支援や、就労に結びつく資格取得のための支援を行うなど、経済基盤の確立に取り組みます。</p> <p>○地域ぐるみで子どもを見守る意識が高まるよう環境整備を行います。</p> <p>○教育、医療などの関係機関との密接な連携による児童虐待の防止、早期発見、早期対応に取り組みます。</p> <p>○保健師等により妊産婦の全家庭を訪問するなど相談体制を充実させ、出産・育児に悩みを持つ家庭への早期対応に取り組みます。</p>	
市民・団体・事業所等の取組み	
<p>○地域が一体となって子どもに気を配り、安全やしつけ、家庭環境などに配慮することで、地域全体で子育てを支援します。</p> <p>○相互に交流する場を活用し、ひとり親家庭の孤立を防ぎます。</p>	

3. 施策を取り巻く状況	
社会環境や法令等の変化	
<p>児童福祉法の改正により、令和6年4月から全市町村が「こども家庭センター」の設置に努めることが義務付けられた。</p>	
新たな市民ニーズ	
<p>社会環境の変化により、隣近所のつきあいが希薄になりつつあり、地域ぐるみで子どもを見守る環境整備と、ひとり親を支援するため、子どもの生活・学習支援事業や、子どもの居場所づくりのため「子ども食堂」等への支援等が必要とされている。</p>	

4. 施策にかかるコスト							
		単位	R3予算	R3決算	R4予算	R4決算	R5予算
コストの内訳	投入人員	正職員数	人	9.0		8.0	
		会計年度任用職員数		5.0		3.0	
	人件費	直接人件費		82,768		62,929	
		間接人件費		7,792		7,474	
	直接事業費	千円	2,318,185	2,132,652	2,237,246	2,071,588	2,179,901
	間接事業費			325		530	
フルコスト			2,223,537		2,142,521		
財源内訳	使用料及び手数料		1	0	1		0
	国庫支出金		1,133,124	1,084,894	1,096,253	1,034,777	1,066,964
	府支出金		303,906	290,991	302,657	275,648	290,147
	市債						
	その他	千円	7,742	192,884	7,694	211,184	7,221
	一般財源1（＝フルコスト－特定財源）			654,768		620,912	
一般財源2（＝直接事業費－特定財源）		873,412	563,883	830,641	549,979	815,569	
備考							

5. 施策の成果指標							
成果指標1		ひとり親家庭の就労支援件数					
単位	目標年度	目標値	指標数値の目指す方向	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
件	毎年度	50	増加	38	30	50	50
成果指標2		児童虐待相談通報件数（特定妊婦含む）					
単位	目標年度	目標値	指標数値の目指す方向	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
件	毎年度	400	維持	330	329	400	400
成果指標3							
単位	目標年度	目標値	指標数値の目指す方向				

6. 施策を構成する事務事業ごとの評価結果（令和4年度実績）										
事務事業名	最重要指標			事業費				方向性		所見
				人件費						
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(見込)			
子ども医療費助成事業 (子福)	子ども医療証交付者数 (年度末現在)			209,811	272,281	293,431	312,925	成果	簡易評価	
	R4実績	11,142	人							
	最終目標値 に対する達成率	-		7,762	5,240	4,322	0	資源 配分		
ひとり親家庭医療費助成事業 (子福)	R4実績			64,950	69,061	69,501	72,463	成果	評価対象外	
	最終目標値 に対する達成率			5,482	5,388	4,322	0	資源 配分		
	R4実績									
児童扶養手当給付事業 (子福)	R4実績			448,018	434,150	419,727	449,960	成果	評価対象外	
	最終目標値 に対する達成率			10,140	7,158	5,057	0	資源 配分		
	R4実績									
児童福祉支援施設入所事業 (子福)	R4実績			7,157	10,290	3,696	20,925	成果	評価対象外	
	最終目標値 に対する達成率			2,519	6,954	4,413	0	資源 配分		
	R4実績									
ひとり親家庭等生活支援事業 (子福)	ひとり親家庭の就労支援件数			18,508	23,136	30,466	48,625	成果	簡易評価	
	R4実績	30	件							
	最終目標値 に対する達成率	-		6,239	10,528	7,678	0	資源 配分		
要支援児童対策事業 (子ども)	児童虐待事件件数			223	1,839	2,868	3,584	成果	簡易評価	
	R4実績	0	件							
	最終目標値 に対する達成率	-		46,497	45,726	37,130	0	資源 配分		
児童手当給付事業 (子福)	R4実績			1,384,310	1,317,122	1,249,064	1,268,766	成果	評価対象外	
	最終目標値 に対する達成率			6,034	5,273	3,932	0	資源 配分		
	R4実績									
未熟児養育医療費給付事業 (子福)	R4実績			2,153	4,773	2,835	2,653	成果	評価対象外	
	最終目標値 に対する達成率			2,411	4,293	3,549	0	資源 配分		
	R4実績									

7. 施策の事後評価	
施策指標の分析（達成状況）	ひとり親家庭の就労支援件数は30件と前年度から減少しているものの、自立支援教育訓練や高等職業訓練の制度の利用者は増加し、就職に繋げるためのスキルアップに貢献できた。 また、児童虐待相談通報件数としては前年度とほぼ変わらず、関係機関との連携のもと相談者に寄り添った支援が実施できた。
構成事務事業に課題はないか	妥当である。
実施主体（国・府や地域・事業所などとの役割分担）に課題はないか	妥当である。

8. 今後の方向性	
担当部長の所見	こども家庭センター設置に向け、機構改革及び人員体制の充実などに取組んでいく必要がある。
担当副市長の意見	こども家庭センター設置に向け体制整備し、妊産婦支援、子育てや子どもに関する相談を受け、支援に繋げられるように取り組む。